

かけはし

第50号

平成31年度予算特集



平成30年度定時総会開催（左上）、岡村部長へ「政策提案・要望書」を提出（右上）
ユネスコエコパークの森 林道ウォーキング（左下）、内装材加工場現場見学（右下）

目次

○平成31年度三重県予算及び森林・林業・木材産業関係予算の概要	2
○平成31年度三重県森林・林業関係公共事業予算	6
○平成31年度林野庁予算の概要	8
○平成31年度森林・林業関係予算等に関する提案・要望活動 （平成30年4月～平成31年3月）	12
○三重県森林協会活動報告（平成30年4月～平成31年3月）	15
○受賞者の紹介	18
○三重県森林協会活動実績（平成30年4月～平成31年3月）	19
○今後の森林協会活動予定	20

豊かで災害に強い森林づくりを推進しよう！

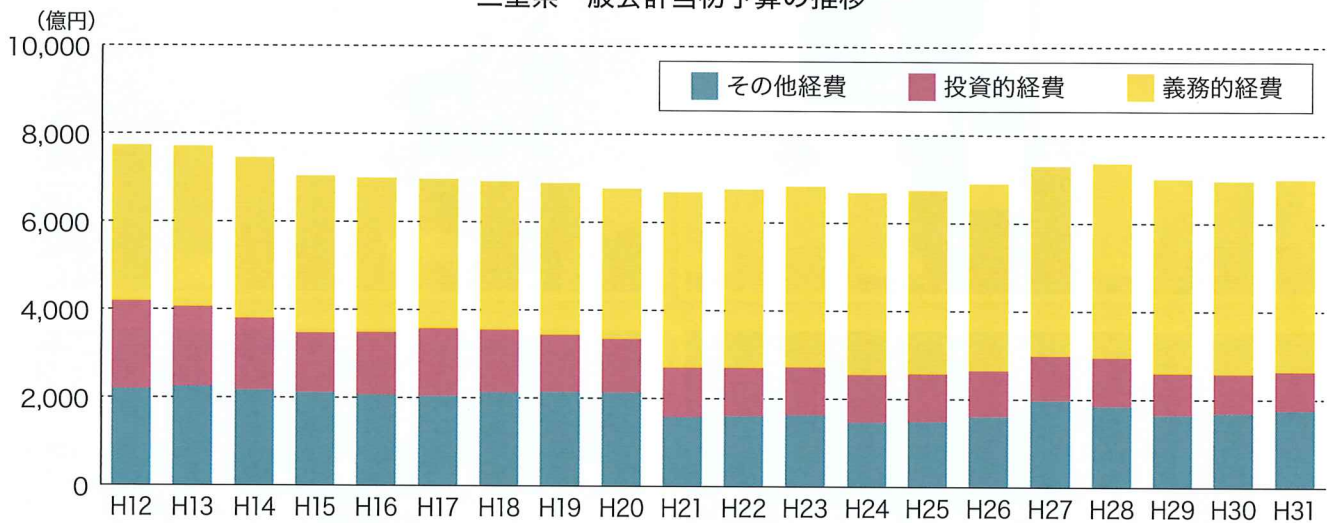
一般社団法人 三重県森林協会

平成31年度三重県予算及び森林・林業・木材産業関係予算の概要

●三重県当初予算（一般会計）は「骨格予算」を念頭に対前年度比0.5%増の7,006億円。

平成31年度三重県当初予算は、①「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」の最終年度において目標達成に向けて県政の諸課題の解決を着実に推進、②通常分の公共事業費を前年度当初予算の80%程度として機械的に計上するなど「骨格的予算」として編成しつつ、県民生活の安全・安心を守るための取組など喫緊の課題等への対応は、新規事業も含めて計上③国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」への対応は、公共事業費を別途所要額で計上し、防災・減災対策に万全を期す、④持続可能な行財政運営に向けて「三重県財政の健全化に向けた集中取組」に基づき事務事業を徹底的に見直す、などに重点を置き、県議会での審議を経て平成31年3月15日に可決されました。一般会計予算の総額は7,006億円で「骨格的予算」ながら三年ぶりの前年度対比0.5%の増となりました。

三重県一般会計当初予算の推移



●森林・林業・木材産業関係予算（一般会計）は、8.9%減の73.4億円

平成31年度三重県の森林・林業関係当初予算は、「骨格的予算」ということもあり、一般会計で73億3,910万円と対前年度比91.1%の減額予算となっています。「三重県民力ビジョン・第二次行動計画」の最終年度として、①「もうかる農林水産業の実現に向けて」、②「次代の農林水産業を担う人材の確保・育成」、③「農山漁村地域の防災・減災対策の強化」を重点項目として目標達成に向けて予算編成されています。

予算内容を見てみると、①「もうかる林業」の実現に向けて、生産体制・生産基盤の整備について、造林・間伐の促進や林道整備、新たな森林経営管理制度の円滑な実施に向けた市町への支援に取り組むとともに、②林業に多くの若者等が就業し、活躍できるよう、「ひとづくり」の観点から、本格開講する「みえ森林・林業アカデミー」による多様な人材育成に取り組めます。また、公共事業では③頻発・激甚化する水害・土砂災害や地震等からの被害を軽減するため、これまでの教訓を踏まえつつ、国が進める「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を有効に活用しながら、ソフト、ハードの両面から防災・減災対策を強化するため、治山施設の整備やみえ森と緑の県民税を活用した災害に強い森林づくりなどに取り組むこととしています。

平成31年度森林・林業・木材産業関係当初予算 7,339,099千円（※特別会計を除く）

- 森林・林業経営課…… 1,317,007千円（森林計画、林業・木材産業振興、造林・間伐、みえ森林・林業アカデミー等）
- 治山林道課…………… 4,172,046千円（治山、林道など林野公共事業、林地開発等）
- みどり共生推進課…… 1,819,448千円（みえ森と緑の県民税、森林環境教育、自然公園等）
- 林業研究所…………… 30,598千円（森林管理・保全・林産・特用林産の試験研究等）

平成31年度 森林・林業・木材産業関係予算一覧

(単位：千円、%)

区分	事業名	平成30年度 当初予算A	平成31年度 当初予算B	対前年度比(%) B/A
森林・林業経営課	「もっと県産材を使おう」推進事業費	3,023	3,638	120.3%
	木質バイオマスエネルギー利用促進事業費	1,000	0	0.0%
	森林経営計画作成推進事業費	42,115	30,610	72.7%
	林業・木材産業構造改革事業費	249,396	427,940	171.6%
	林業資金貸付事業特別会計繰出金	845	599	70.9%
	普及指導活動事業費	6,086	6,388	105.0%
	森林育成促進資金貸付金事業費	95,236	95,124	99.9%
	地域森林計画編成事業費	9,042	3,655	40.4%
	森林整備加速化・林業再生基金事業費	147,931	163,000	110.2%
	森林整備加速化・林業再生基金積立金	100,031	100,000	100.0%
	林業分野における福祉との連携推進事業費	257	0	0.0%
	(一部新)林福連携による新たな雇用創出促進事業費	—	629	皆増
	(一部新)豊かな森と地域を担う人づくり事業費	1,630	2,493	152.9%
	県産材輸出促進事業費	1,000	0	0.0%
	(一部新)東京オリ・パラを契機とした県産材の販売力強化促進事業費	2,801	0	0.0%
	(一部新)譲与税関連 みえ森林・林業アカデミー設置・運営事業費	6,507	46,807	719.3%
	(新)譲与税関連 新たな森林経営管理体制支援事業費	—	16,501	皆増
	(公共)造林事業費	431,645	371,778	86.1%
	(公共)環境林整備事業費	37,629	0	0.0%
	(公共)特定森林再生事業費	—	5,951	皆増
治山林道課	(県単公共)県単森林環境創造事業費	45,675	21,675	47.5%
	(県単公共)県単造林事業費	9,580	20,219	211.1%
	小計	1,191,429	1,317,007	110.5%
	県行造林事業費	46,291	50,337	108.7%
	保安林整備管理事業費	10,769	8,237	76.5%
	林地開発許可事業費	577	705	122.2%
	森林病虫害等防除事業費	554	229	41.3%
	(公共)林道事業費	407,654	326,563	80.1%
	(公共)治山事業費	1,602,318	1,380,354	86.1%
	(県単公共)県単林道事業費	5,238	15,750	300.7%
	(県単公共)県単治山事業費	1,468,301	1,174,641	80.0%
	(公共)治山施設災害復旧事業費	189,000	126,000	66.7%
	(公共)林道施設災害復旧事業費	672,850	680,850	101.2%
	県民税関連 災害に強い森林づくり推進事業費	401,980	408,380	101.6%
	小計	4,805,532	4,172,046	86.8%

区分	事業名	平成30年度 当初予算A	平成31年度 当初予算B	対前年度比(%) B/A
みどり共生推進課	希少生物保全事業費	394	0	0.0%
	野生生物保護事業費	1,495	1,647	110.2%
	自然環境保全対策事業費	145	110	75.9%
	自然公園利用促進事業費	19,586	18,210	93.0%
	みんなでつくる三重の森林事業費	599	449	75.0%
	森林公園利用促進事業費	51,780	51,309	99.1%
	県民税関連 みえ森と緑の県民税基金積立金	1,112,805	1,090,828	98.0%
	県民税関連 森を育む人づくりサポート体制整備事業	30,000	34,557	115.2%
	県民税関連 みえ森と緑の県民税市町交付金事業費	712,700	550,000	77.2%
	県民税関連 みえ森と緑の県民税制度運営事業費	7,739	19,362	250.2%
	自然公園ナショナルパーク化促進事業費	88,640	52,976	皆増
	小 計	2,025,883	1,819,448	89.8%
林業研究所	林業試験研究管理費【林業研究所】	22,507	21,711	96.5%
	林業技術開発事業費【林業研究所】	11,215	8,887	79.2%
	小 計	33,722	30,598	90.7%
計(一般会計)		8,056,566	7,339,099	91.1%
特会	木材産業等高度化推進資金貸付事業費 など 小計	666,840	566,743	85.0%
合 計		8,723,406	7,905,842	90.6%

(注)1 特会とは、特別会計予算をいう。 2 県民税関連：みえ森と緑の県民税関連 3 譲与税関連：森林環境譲与税関連

新規事業紹介

- 1 (新) 新たな森林経営管理体制支援事業費** **16,501千円【森林・林業経営課】**
 市町が主体となった「新たな森林経営管理制度」が円滑に進み、森林整備等が促進されるよう市町の業務推進および体制整備を支援します。
- 2 (新) 特定森林再生事業費** **5,951千円【森林・林業経営課】**
 自然条件等により森林所有者の自助努力では更新が困難な森林において所有者と市町が事業実施後一定期間皆伐しない等の協定を締結し、緊急的に実施される再造林等を支援します。
- 3 (一部新) みえ森林・林業アカデミー設置・運営事業費** **46,807千円【森林・林業経営課】**
 「みえ森林・林業アカデミー」を本格開講し、既就業者を対象とした3つの育成コースのほか、選択講座や市町職員講座を実施運営するとともに、研修機器の整備等を行います。
 また、中大規模建築等の木造設計を行える人材を育成する講座等を実施します。
- 4 (一部新) 林福連携による新たな雇用創出促進事業費** **629千円【森林・林業経営課】**
 林福連携による新たな雇用を創出するため、キノコ栽培、苗木生産、木工などの分野において、生産者等を対象に、林福連携の取組内容や手法を学ぶ研修会を開催するとともに、新たな連携の取組につなげるためのマッチング等を行います。

次代へつなぐ三重の林業をめざして

次代へつなぐ三重の林業の実現をめざして、持続可能な林業生産活動の推進、次代の林業や地域を担う人材も含めた林業・木材産業の担い手の育成、県産材の国内外でのさらなる認知度向上や販売拡大など、県産材の利用促進の取組を進めます。また、森林環境譲与税を活用した新たな森林の経営管理や、社会全体で支える森林づくりに取り組みます。

持続可能な林業生産活動の推進

造林事業 (391,997千円)

- 植栽、下刈り、搬出間伐等の森林整備を促進
- 森林環境創造事業 (21,675千円)
- 市町との協定等に基づく公的な森林整備を促進
- (新)特定森林再生事業 (5,951千円)

更新が困難な森林における再造林等を支援

- 原木安定供給促進事業 (69,520千円) 2月補正
- 合板、製材工場等に原木を安定的に供給する事業者が行う、間伐・作業道整備等を支援

合板・製材生産性強化対策事業 (19,741千円) 2月補正

- 計画に基づく木材加工流通施設等の整備を支援

林業・木材産業構造改革事業 (427,940千円)

- 林産物等の安定的な供給の確保等を図るため間伐・路網整備、高性能林業機械の導入等を支援
- 木材加工流通施設等の整備を支援

林道事業 (381,879千円) 2月補正 含み

- 木材の生産や搬出に必要な林道等を開設
- 輸送力向上と通行の安全確保等を図るため既設林道の改良を支援



【治山林道課】

災害に強い森林づくり

災害に強い森林づくり推進事業 (408,380千円) 【治山林道課】

- 溪流沿いの森林等において、土砂流出や流木の発生に對して緩衝効果を發揮させるための森林整備を推進
- 治山施設等に異常に堆積した土砂や流木を除去

みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (550,000千円の内)

- 流域の防災機能を強化する面的な森林整備や植栽地の獣害対策を支援



【森林・林業経営課】

林業・木材産業の担い手の育成

みえ森林・林業アカデミー設置・運営事業費

(46,807千円)

- 「みえ森林・林業アカデミー」を本格開講し、育成コースや選択講座、市町職員講座を実施
- 豊かな森と地域を担う人づくり事業 (2,493千円)
- 自伐型林業など多様な林業経営活動を支援
- 高校生を対象とした就業体験研修を開催
- 林福連携による新たな雇用創出促進事業 (629千円)

- キノコ栽培、苗木生産、木工などの事業者を対象に林福連携の手法を学ぶ研修会等を開催

【森林・林業経営課】



県産材の利用の促進

「もっと県産材を使おう」推進事業 (3,638千円)

- 「三重の木」認証事業者等と連携した情報の発信
- 首都圏での展示会等への出展や自治体等への訪問などによる新たな木材需要の獲得
- 公共建築物等の木造・木質化を推進するための研修会の開催
- 中小製材工場間の水平連携に向けた取組を推進

みえ森林・林業アカデミー設置・運営事業費

(46,807千円の内)

- 中大規模建築等の木造設計を行える人材を育成する講座等の実施

【森林・林業経営課】



新たな森林の経営管理

(新)新たな森林経営管理体制支援事業 (16,501千円)

- 市町が主体となった「新たな森林経営管理制度」が円滑に進み、森林整備等が促進されるよう、市町の事業推進及び体制整備を支援

【森林・林業経営課】



社会全体で支える森林づくり

県民全体で森林を支える社会づくり

【みどり共生推進課】

- みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (550,000千円)
- 市町が地域の実情に応じ創意工夫した森林づくりの施策を展開
- 森を育む人づくりサポート体制整備事業 (34,557千円)
- 市町や学校、森林ボランティア団体等の森づくり活動の取組をサポート
- 森林環境教育・木育の体制整備
- 地域との連携による自然公園施設等を活用した森林環境教育の実践



●三重県森林・林業関係公共事業予算（施設災害復旧費を含む）は、15.3%減の41.2億円

森林・林業関係公共事業（施設災害復旧費を含む）の平成31年度当初予算は「骨格的予算」のため41億2,378万円で、対前年度比84.7%の減額予算となりました。

平成31年度当初予算と一体的に編成された平成30年度2月補正予算を合わせたベースでの比較では、対前年度（同）比81.6%の43億4,585万円となっています。

平成31年度 三重県森林・林業関係公共事業、災害復旧費予算一覧

（単位：千円、%）

区 分		平成30年度 当初予算 A	平成30年度予算 2月補正含む B	平成31年度 当初予算 C	平成31年度予算 2月補正含む D	当初対比 C / A	補正含対比 D / B
治 山	治山事業費	1,602,318	2,060,518	1,380,354	1,562,854	86.1%	75.8%
	(国補小計)	1,602,318	2,060,518	1,380,354	1,562,854	86.1%	75.8%
	県単治山事業費	1,468,301	1,468,301	1,174,641	1,174,641	80.0%	80.0%
	(県単小計)	1,468,301	1,468,301	1,174,641	1,174,641	80.0%	80.0%
	治山合計	3,070,619	3,528,819	2,554,995	2,737,495	83.2%	77.6%
林 道	林道事業費	407,654	407,654	326,563	366,129	80.1%	89.8%
	(国補小計)	407,654	407,654	326,563	366,129	80.1%	89.8%
	県単林道事業費	5,238	5,238	15,750	15,750	300.7%	300.7%
	(県単小計)	5,238	5,238	15,750	15,750	300.7%	300.7%
	林道合計	412,892	412,892	342,313	381,879	82.9%	92.5%
森 林 整 備	造林事業費	431,645	431,645	371,778	371,778	86.1%	86.1%
	環境林整備事業費	37,629	37,629				
	特定森林再生事業費			5,951	5,951	皆増	皆増
	(国補小計)	469,274	469,274	377,729	377,729	80.5%	80.5%
	県単森林環境創造事業費	45,675	45,675	21,675	21,675	47.5%	47.5%
	県単造林事業費	9,580	9,580	20,219	20,219	211.1%	211.1%
	(県単小計)	55,255	55,255	41,894	41,894	75.8%	75.8%
森林整備合計		524,529	524,529	419,623	419,623	80.0%	80.0%
一般公共事業合計		4,008,040	4,466,240	3,316,931	3,538,997	82.8%	79.2%
治 山	平成29年治山施設災害復旧事業費	94,500	94,500	31,500	31,500	100.0%	33.3%
	平成30年治山施設災害復旧事業費	94,500	94,500	0	0		
	平成31年治山施設災害復旧事業費			94,500	94,500		皆増
	治山施設災合計	189,000	189,000	126,000	126,000	100.0%	66.7%
林 道	平成28年度林道施設災害復旧事業費	3,400	3,400	0	0	0.0%	0.0%
	平成29年度林道施設災害復旧事業費	41,070	41,070	61,000	61,000	148.5%	148.5%
	平成30年度林道施設災害復旧事業費	628,380	628,380	20,400	20,400	3.2%	3.2%
	平成31年度林道施設災害復旧事業費			599,450	599,450		皆増
	林道施設災合計	672,850	672,850	680,850	680,850	101.2%	101.2%
農林水産施設災害復旧費合計		861,850	861,850	806,850	806,850	100.9%	93.6%
公共事業 合計		4,869,890	5,328,090	4,123,781	4,345,847	84.7%	81.6%

農山漁村地域の防災・減災対策の強化

平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震など、大規模自然災害が全国各地で頻発し、三重県においても平成30年の台風第20号、第21号などによる被害が発生しています。頻発・激甚化する水害・土砂災害や地震等からの被害を軽減するため、国が進める「防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策」を有効に活用しながら、ソフト、ハードの両面から防災・減災対策を強化していきます。

※金額はH30年度2月補正予算含みベース

農村の防災・減災対策

農業用施設等の耐震対策【農業基盤整備課】 県営ため池等整備事業

- 大規模地震発生時等の農業用ため池の決壊による被害を未然に防止するため、堤体の耐震対策等を計画的かつ重点的に実施します。



ため池の耐震対策

団体営ため池等整備事業 (218,978千円)

- 破堤した際、人家等に被害が及ぶ恐れのあるため池の耐震調査・ハザードマップ作成を支援します。



下流に家屋等のあるため池



ため池ハザードマップの作成支援

農村の湛水被害対策【農業基盤整備課】 基幹土地改良施設防災機能拡充保全事業

(869,257千円)

- 激甚化し頻発する集中豪雨による湛水被害を未然に防止するため、老朽化した排水機の更新整備や排水機場の耐震対策を計画的かつ重点的に実施します。



老朽化した排水機の更新整備

このほか、台風等への事前・事後対策をまとめた農家向けの防災技術マニュアルを策定し、普及・啓発します。

山地の防災・減災対策

治山施設の整備【治山林道課】 治山事業 (2,737,495千円)

- 山地災害の復旧や予防を図る治山施設の整備を進めるとともに、公益的機能が低下した保安林の森林整備や老朽化した治山施設の改修等を行います。



山腹法面の復旧



治山ダム の整備

山地災害の未然防止対策

【治山林道課】【森林・林業経営課】 災害に強い森林づくり推進事業 (408,380千円)

- 「災害に強い森林づくり」を進めるため、流木となる恐れのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出、治山施設等に異常に堆積した土砂や流木の撤去等を行います。
(「みえ森と緑の県民税」を活用)



整備前



整備後

流木となる恐れのある危険木の除去

(一部新) みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (550,000千円の内数)

- 市町と連携して流域の防災機能を強化するための面的な森林整備等を進めます。(「みえ森と緑の県民税」を活用)

海岸・漁村の防災・減災対策

海岸・漁港施設の防災・減災対策【緊急】 【農業基盤整備課】【水産基盤整備課】

- 海岸保全施設整備事業 (180,500千円)
- 県営漁港海岸保全事業 (505,900千円)

- 大規模地震による津波や大型台風による高潮等からの浸水被害を未然に防止するため、海岸堤防の耐震対策等を重点的に実施します。



整備前



整備後

海岸堤防の耐震対策

県営水産生産基盤整備事業 (708,650千円)

- 海岸施設と一体となって津波や高潮等から集落を守る、耐津波防波堤の整備等を実施します。



整備前



整備後

耐津波防波堤の整備

安全・安心な漁業生産体制づくり【水産基盤整備課】 県単漁港改良事業 (23,754千円)

- 災害発生後の漁業生産活動を円滑に再開できるよう、漁港BCP(業務継続計画)および拠点漁港における水産業BCPの策定・運用等を進めます。



漁業生産活動の早期復旧

このほか、「養殖施設の減災ガイドライン(H24県策定)」を見直し、現場における対策を強化します。

平成31年度 林野庁予算（林野公共事業）の概要

●平成31年度国家予算のポイント

平成31年度国予算は、「経済財政運営と改革の基本方針2018」で示された「新経済・財政再生計画」の枠組みの下、経済再生と財政健全化の両立を目指した予算として編成され、第198回通常国会における審議を経て3月27日に自然成立しました。

一般会計予算の総額は99兆4,291億円で、7年連続で過去最大を更新し、対前年度比101.8%の予算額となっています。

●林野庁予算の内容

平成31年度の林野庁予算の総額は公共事業費・非公共事業費総額で3,433億円で対前年度比114.6%となり、高い伸びを示すものとなっています。

防災・減災、国土強靱化緊急対策に係る「臨時・特別の措置」を加えると3,433億円で対前年度比114.6%となり、高い伸びを示すものとなっています。

また、平成30年度補正予算（1次・2次）には1,228億円を追加し、補正+当初の総額では4,661億円の規模となっており、同120.8%の伸びとなりました。

特に公共事業（治山事業・森林整備費）については、「防災・減災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策」に取り組むこととしています。

当初予算では、森林が本格的な主伐期を迎えるという状況の変化に対応し、新たな森林経営管理制度と森林環境税（仮称）の創設による林業の成長産業化と森林資源の適正な管理を実現するとともに、木材の輸出も含めた需要拡大を行うことにより、時代の転換期に即した施策が充実されています。

平成31年度 林野関係予算の概要

（単位：億円）

	H26 予算	H27 予算	H28 予算	H29 予算	H30 予算	H31 予算	H31 / H30
公共事業計	1,913	1,918	1,900	1,900	1,900	2,370	124.7%
一般公共	1,813	1,819	1,800	1,800	1,800	2,269	126.0%
治 山	616	616	597	597	597	856	143.3%
森林整備	1,197	1,203	1,203	1,203	1,203	1,413	117.4%
災害復旧	100	100	100	100	100	101	101.7%
非公共事業計	1,003	985	1,033	1,055	1,097	1,063	97.0%
林野庁合計	2,916	2,904	2,933	2,956	2,997	3,433	114.6%

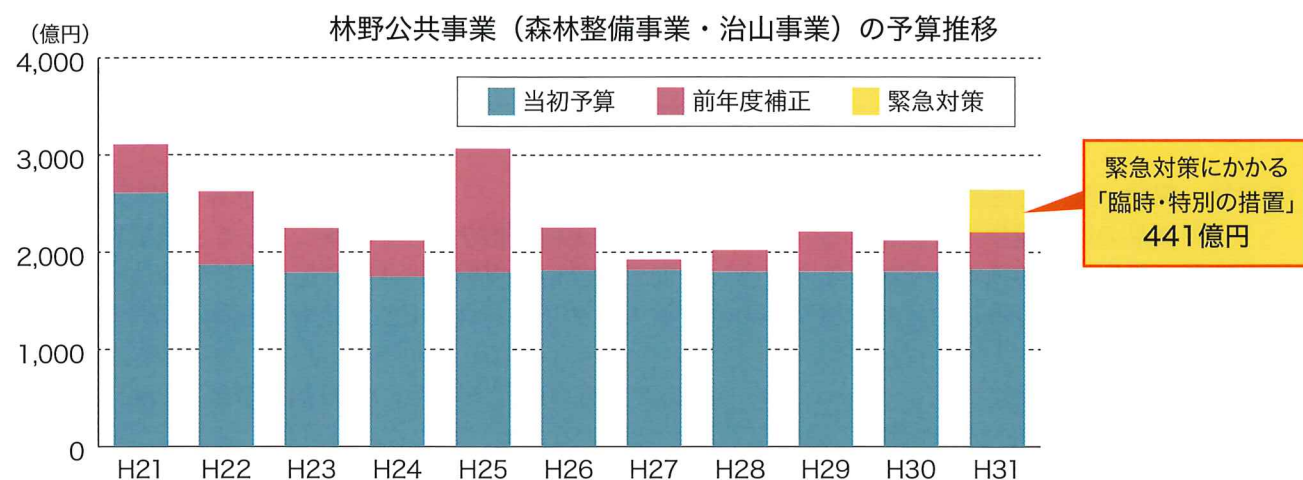
注)1 上記のほか、農山漁村地域整備交付金に林野関係事業が措置されている。

2 H31 予算については、一般公共事業費に重要インフラの緊急点検等を踏まえた防災・減災、国土強靱化のための緊急対策にかかる臨時・特別の措置」441億円を含む。

●林野公共事業予算

林野一般公共事業予算は、防災・減災、国土強靱化緊急対策に係る「臨時・特別の措置」を加えると2,269億円で、対前年度比126.0%の増となりました。

これに、平成30年度補正予算（1次・2次）を加えると2,646億円で、対前年比147.0となり、10年前の平成21年度当初予算規模を上回る水準となりました。



主な事業内容

○林業の成長産業化と生産流通構造改革の推進

森林が本格的な主伐期を迎えるという状況の変化に積極的に対応し、新たな森林管理システムと森林環境税（仮称）の創設による林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を実現するとともに、木材の輸出も含めた需要拡大を行うことにより、時代の転換期に即した森林・林業施策を充実。

①林業成長産業化総合対策〈一部公共〉

【H31 当初：241 億円】

森林経営管理法に基づく新たな森林管理システムを推進するため、森林の経営管理を担う意欲と能力のある林業経営者の育成や経営の集積・集約を進める地域への路網整備・高性能林業機械の導入、川上から川下までを結ぶサプライチェーンの構築による流通コストの削減、CLT（直交集成板）等の利用促進など木材需要の拡大等に向けた取組を総合的に支援。

ア 林業・木材産業成長産業化促進対策

意欲と能力のある林業経営者を育成し、木材生産を通じた持続的な林業経営を確立するため、出荷ロットの大規模化、資源の高度利用を図る施業、路網整備、高性能林業機械の導入、木材加工流通施設の整備等を総合的に支援。

・持続的林業確立対策事業

持続的な林業経営を確立するため、意欲と能力のある経営体の育成、新たな森林管理システムを活用する区域での重点的な路網整備、高性能林業機械の導入、伐倒・搬出、主伐時の全木集材と再生林の一貫作業、森林境界の明確化、再生林に必要なコンテナ苗生産基盤施設の整備等を支援。

・木材産業等競争力強化対策

木材産業等の競争力強化を図るため、意欲と能力のある経営体との連携を前提に、木材製品を安定的・効率的に供給するための木材加工流通施設の整備、木材利用を拡大するための木造公共建築物や木質バイオマス利用促進施設等の整備、山村振興のための特用林産振興施設の整備を支援。

・林業成長産業化地域創出モデル事業

森林資源の利活用により地域の活性化に取り組むモデル的な地域（林業成長産業化地域）を指定し、提案するビジョンに基づくソフト対策や木材流通加工施設整備等を優先的に支援するとともに優良事例の横展開を図る。

イ スマート林業の促進

ロボット・AI・IoT等の先端技術を活用した森林施業の効率化や需給マッチングによる流通コストの削減などスマート林業の構築に向け取組、施業現場の管理者育成等を支援。

ウ 木材需要の創出・木材産業活性化対策

「伐つて、使って、植える」というサイクルを回すためには木材の需要拡大が重要であることから、CLT等の利用促進や民間との連携による中高層・非住宅建築物等への木材利用の促進や公共建築物の木造化・木質化などによる新たな木材需要の創出、高付加価値木材製品の輸出拡大、サプライチェーン構築に向けたマッチング等の取組を支援。

②合板・製材・集成材国際競争力強化対策〈一部公共〉

【H30 補正予算：392億円】

木材製品の国際競争力を強化するため、林業経営を集積・集約化する地域に対して、路網整備や高性能林業機械の導入等を支援するとともに、加工施設の大規模化・高効率化や高付加価値品目への転換、非住宅分野等における木材製品の消費拡大、クリーンウッド法の定着実態調査等を支援。

③森林整備事業〈公共〉

【H31 当初：1,221億円。H30 補正予算：182億円】

林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を実現するため、新たな森林管理システムが導入される地域を中心に、間伐や路網整備、再造林等を推進するとともに、国土保全や地球温暖化防止等に貢献。

④「緑の人づくり」総合支援対策

【H31 当初：47億円】

林業への就業前の青年に対する給付金の支給や、「緑の雇用」事業により新規就業者を現場技能者に育成する研修等を支援するとともに、新たな森林管理システムと森林環境税（仮称）の創設を踏まえ、市町村の森林・林業担当職員を支援する人材の育成を推進。

⑤森林・山村多面的機能発揮対策

森林・山村の多面的機能の発揮を図るため、地域における活動組織が実施する森林の保全管理や森林資源の利用等の取組を支援。

⑥治山事業〈公共〉

【H31 当初：606億円。H30 補正予算：143億円】

豪雨災害など激甚化する災害に対する山地防災力強化のため、荒廃山地の復旧・予防対策、総合的な流木対策の強化等を推進。

⑦花粉発生源対策推進事業

【H31 当初：1億円】

花粉症対策苗木への植替え、花粉飛散防止剤の実証実験、スギ・ヒノキの雄花着花状況調査等の取組とともに、これらの成果の普及啓発等を一体的に支援。

⑧農山漁村地域整備交付金〈公共〉

【H31 当初：50億円】

地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付。

○重要インフラの緊急点検等を踏まえた防災・減災対策、国土強靱化のための緊急対策

① 治山施設等の緊急対策〈公共〉 250億円

【H30 補正予算：131億円】

山腹崩壊や流木被害等のおそれがある地域について、治山施設の設置等により、荒廃山地の復旧・予防対策等を実施。

②森林の緊急対策〈公共〉 192億円

【H30 補正予算：41億円】

山腹崩壊や流木被害等のおそれがある地域について、山腹災害の未然防止や林道機能の確保を図るため、荒廃森林の間伐や森林の緊急造成、法面崩壊等の危険性が高い林道の改良整備等を実施。

林 業 予 算 の 概 要 (平成31年度、平成30年度補正)

○林業の成長産業化と生産流通構造改革の推進
森林経営管理法に基づく新たな森林管理システムを推進
林業成長産業化総合対策 【241億円】

林業・木材産業成長産業化促進対策 【88億円】
持続的林業確立対策

- ❖ 意欲と能力のある経営者を育成し、持続的な林業経営を確立するため、出荷ロツトの大規模化、路網整備、間伐材生産、高性能林業機械の導入、主伐・再造林の一貫作業、森林境界明確化、自伐林家等への支援等を推進。



〔路網整備〕



〔高性能林業機械導入〕



〔間伐材生産〕

木材産業等競争力強化対策

- ❖ 意欲と能力のある経営者との連携を前提に、木材加工流通施設、木質バイオマス関連施設、木造公共建築物等の整備等を支援



〔木材加工施設〕



〔木造公共建築物〕

林業成長産業化地域創出モデル事業

- スマート林業構築推進事業 【2.2億円】
- ❖ 「スマート林業」を実現するため、ICTの活用による先進的な取組やその普及展開を推進

- 木材生産高度技術者育成対策 【5.3億円】
- ❖ ICT等を活用した路網整備に向けた技術者の育成や市町村等の技術者育成の支援に向けた取組を実施するとともに現場を管理する班長クラスの育成や労働安全の取組等を支援

- 木材産業・木造建築活性化対策 【12.5億円】
- ❖ 「スマート林業」を実現するため、ICTの活用による先進的な取組や、その普及展開を推進

- 木材需要の創出・輸出力強化対策 【6.8億円】
- ❖ 公共建築物等の木造化・木質化、木質バイオマスのエネルギー利用など木材需要の創出と高付加価値製品の輸出拡大の取組を支援

合板・製材・集成材国際競争力強化対策(30年度第2次補正) 【392億円】

- ❖ 木材製品の国際競争力強化を図るため路網整備・高性能林業機械の導入支援、加工施設の大規模化・高効率化や高付加価値品目への転換等への支援



川 上
森林所有者、
素材生産業者等
(意欲と能力のある
経営者)

川上から川下までの連携による木材の安定供給や流通コストの削減

川 中
製材業者、
合板業者等
(JAS無垢製材品等
を製造する業者)

川 下
木材需要者
工務店、建設会社、
ハウスメーカー等
(需要開拓に意欲
のある者)



森林整備事業

【1,221億円、補正182億円】

- ❖ 林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を実現するため、新たな森林管理システムが導入される地域を中心に、間伐や路網整備、再造林等を推進するとともに、国土保全や地球温暖化防止等に貢献

治山事業

【606億円、補正143億円】

- ❖ 集中豪雨など激甚化する災害に対する山地防災力強化のため、荒廃山地の復旧・予防対策、総合的な流木対策の強化等を推進



農山漁村地域整備交付金

「緑の人づくり」総合支援対策

- ❖ 「緑の雇用事業」等により新規就業者を現場技能者に育成する研修等を支援するとともに新たな森林管理システムと森林環境税の創設を踏まえ、市町村の森林・林業職員を支援する材の育成を推進 【47億円】

森林・山村多面的機能発揮対策

- ❖ 地域における活動組織が実施する森林の保全管理や森林源の利用等の取組を支援 【14億円】

花粉発生源対策推進事業

- ❖ 花粉症対策苗木への植替え、花粉飛散防止剤の実証実験等の取組とともに成果の普及等を支援 【1億円】

○重要インフラの緊急点検等を踏まえた防災・減災、国土強靭化のための緊急対策

- 治山施設等の緊急対策 【「臨時・特別の措置」250億円】
- ❖ 山腹崩壊や流木被害等のおそれのある地域について、治山施設の設置等により、荒廃山地の復旧・予防対策等を実施

森林の緊急対策

- ❖ 山腹崩壊や流木被害等のおそれのある地域について、山地災害の未然防止や林道機能の確保を図るため荒廃森林の間伐や森林の緊急造成、法面崩壊等の危険性が高い林道の改良等実施 【「臨時・特別の措置」192億円】

平成31年度森林・林業関係予算等に関する提案・要望活動

●平成31年度県予算編成等に向けた森林・林業政策提案・要望書」の提出

平成31年度の予算編成に向けて、国・県に対する森林・林業政策の提案・要望事項を、各市町から平成30年3月と6月の2回にわたって提出していただき、その内容について議論を深めるための意見交換会を、県の担当班長と各市町の出席により平成30年9月20日に開催しました。

その内容を取りまとめ、「平成31年度県予算編成等に向けた森林・林業政策提案要望書」として平成30年10月26日に当協会河上会長から三重県農林水産部岡村部長へ提出し、要望を行いました。



平成31年度県予算編成等に向けた森林・林業政策提案・要望

戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、近年は木材自給率の上昇や、平成31年度からの森林経営管理法の施行とともに森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）の創設、県内においては、大型合板工場の稼働、木質バイオマスのエネルギー利用などに加え、「みえ森と緑の県民税」の次期制度が継続される年にあたり、森林・林業・木材産業にとって、厳しさの中にも明るい兆しもみられます。

当協会では、県土保全や地球温暖化防止等森林の公益的機能を確保しつつ、それを支える林業について、豊富な森林資源の循環利用を通じて成長産業化させることで地方創生に繋げていくことを強く願い活動を行っており、国・県とも連携をより深めながら取り組みを進めたいと考えています。

また、近年、局所的な集中豪雨等による山地災害から県民の生活と暮らしを保全するため、発生する自然災害に対応して荒廃山地の復旧整備や保安林の水土保全機能の強化等による事前防災・減災対策としての治山対策の強化により県土の強靱化を計画的に進めていくことの必要性が増している中で、当協会では「健全で災害に強い森林づくり」をテーマとして掲げ、活動を行っているところでございます。

そう言った取り組みの中で、毎年当協会の会員である市町から提案・要望事項の提出を受けて、取りまとめ段階で意見交換会を開催し、さらに議論を深めたものを政策提案・要望書として県へ提出させていただいております。

財政状況の厳しい中ではございますが平成31年度の予算編成や計画づくりを行う中で、この提案・要望の内容を最大限活かしていただきますようお願い申し上げます。

平成30年10月26日

一般社団法人 三重県森林協会

会長 河上 敢 二

主な提案・要望事項

1 森林整備に関する提案・要望

- (1) 計画的な森林整備のための安定的な財源確保をお願いしたい。
- (2) 皆伐後の再造林への支援策の拡充をお願いしたい。
- (3) 環境林整備を計画的に進めるために必要な予算の確保をお願いしたい。
- (4) 森林整備地域活動支援交付金の安定的な財源確保をお願いしたい。

2 治山事業に関する提案・要望

- (1) 治山事業の予算の確保をお願いしたい。
- (2) 事前防災・減災対策としての航空レーザー計測を活用した崩壊危険地の効果的な把握をお願いしたい。

3 木材の流通加工体制や安定供給体制の整備に関する提案・要望

- (1) 森林の管理経営の集積・集約化の推進や、正確な森林資源情報を把握するための航空レーザー計測の早期実施をお願いしたい。
- (2) 建築用材の安定供給体制の整備をお願いしたい。

4 木材の需要拡大・利用促進に関する提案・要望

- (1) 公共建築物の木造化や輸出拡大を推進するため、地域関係者のネットワーク化による原木調達から製材までの体制整備をお願いしたい。

5 人材育成に関する提案・要望

- (1) みえ森林・林業アカデミーの専門実習講座として参加希望者があれば、森林土木・測量技術研修（林道開設、境界明確化など）にかかる講座開設をお願いしたい。

6 森林環境譲与税（仮称）に関する提案・要望

- (1) 森林環境譲与税（仮称）を財源とする新たな森林管理のシステム実施にあたって、市町に対する専門家等の人的支援、事業の効率的・効果的实施に資するガイドブック等の早期作成等、十分な支援体制をお願いしたい。

●三重県農林水産部と三重県森林協会役員との意見交換会の開催

平成30年6月29日、津市において開催した当協会平成30年度第1回理事会の終了後、県農林水産部長をはじめ森林・林業分野の幹部職員の皆さんと当協会役員との意見交換会を開催しました。

県から、①平成30年度森林・林業施策について、②「みえ森林・林業アカデミー」の開講について、③「みえ森と緑の県民税」の取組について、④「森林環境譲与税（仮称）」についての情報提供をいただいた後に、意見交換を行いました。



●環境省における平成31年度主要施策等についての意見交換会の開催



平成30年7月25日、津市において「低炭素な地域づくりに取り組む首長の会」と当協会との共催により環境省との意見交換会を開催しました。

環境省から地球温暖化対策課の古来隆雄事業管理室長と環境計画課の山田哲也計画官にお越しいただき、平成31年度主要施策等についてご説明をいただいた後、活発な意見交換をいただきました。

●自由民主党三重県支部連合会の「平成31年度国・県の政策・予算に関する要望聴き取り会」において要望

平成30年7月31日、津市において開催された自由民主党三重県連の要望聴き取り会に、河上会長、尾上副会長と前川専務理事が出席し、(1)市町の森林整備の推進に向けた体制整備に対する支援について、(2)森林資源情報の高度化にかかる支援について要望を行いました。

県議会からは7名の議員の出席があり、国会からは3名の三重県選出国会議員秘書の出席がありました。



●全国治山林道協会会長会議で決議された要望書を三重県選出国会議員へ提出し要望

平成31年度当初予算及び平成30年度補正予算についての全国治山林道協会会長会議による要望の書面決議が行われ、その要望について、平成30年11月7日に前川専務理事から三重県選出国会議員（7名）に提出し、要望活動を行いました。

1. 「緑の国土強靱化」の推進として、(1) 治山事業による荒廃山地の早期復旧や流木災害防止緊急対策の確実な実施、(2) 事前防災・減災対策の強化に対応する予防的な治山対策の強力な推進、(3) 既存治山施設の機能強化対策の推進、(4) 水土保持機能の低下した森林の整備、災害につよい森林づくりの推進について、2. 森林整備の推進として、(1) 林道施設被害の早期復旧と災害に強い林道等の整備の推進、(2) 林業生産の基盤となり木材生産コスト低減に繋がる幹線的な林道等路網整備の推進、(3) 森林整備の低コスト化に向けた路網整備と一体となった森林整備の推進、(4) 間伐や再生林の推進による森林吸収源の確保と「緑の国土強靱化」の推進について要望しました。

●財務省への「平成31年度当初予算等における林野公共事業に関する緊急要請」

平成30年11月7日に、三重県森林組合連合会とともに、財務省主計局に対し、1. 森林の有する多面的機能の維持増進に不可欠な間伐・再生林等の森林整備に係る予算を十分に確保すること、2. 林業の成長産業化の実現に向け、木材の安定供給や森林整備の基盤整備として不可欠な林道等の路網整備に係る予算を十分に確保することについて要望しました。

●「2018治山・林道のつどい」での決議を三重県選出国会議員に対し要望

平成30年11月28日、東京都において開催された「2018治山・林道のつどい」で林野公共事業予算の拡充に関する決議され、その決議内容について同日前川専務理事から三重県選出国会議員（7名）に対し要望を行いました。

(1) 治山事業及び林道等森林整備事業予算の大幅な拡充、(2) 甚大な災害の発生を踏まえた緑の国土強靱化への対応、(3) 林道等の路網整備の強力な推進、(4) 森林吸収源対策の着実な推進について要望しました。

●近畿治山林道協会連絡協議会総会で決定した提案要望書を三重県選出国会議員へ提出し要望

平成30年8月30日、大阪市において開催された「近畿治山林道協会連絡協議会平成30年度総会」において近畿7府県から提出され取りまとめられた治山・林道事業関係の提案・要望事項を、11月28日に前川専務理事から三重県選出国会議員（7名）に提出して要望を行いました。

1. 治山事業の推進として、(1) 平成31年度民有林治山事業及び治山施設の長寿命化に向けた予算枠の確保、(2) 民有林国庫補助治山事業の採択基準の緩和及び拡充、(3) 既設治山施設の維持・管理など長寿命化対策に係る事業の創設、2. 林道事業の推進として、(1) 平成31年度民有林林道事業及び林道施設の長寿命化に向けた予算枠の確保、(2) 林業専用道の採択基準の緩和、(3) 林道施設災害復旧事業の補助対象の見直し及び支援、(4) 林道の維持管理、小規模改良に係る支援への拡充について要望しました。

●「知事との森林トーク」で提案・要望

平成31年1月22日、三重県庁において、三重県林業団体連絡協議会主催の「知事との森林トーク」が開催され、鈴木知事、岡村農林水産部長らに対して、同連絡協議会の正副会長が代表して提案・要望を行いました。

当協会からは河上会長が出席し、「新たな森林管理制度」に基づく市町への支援について提案・要望等を行いました。



三重県森林協会活動報告 ■平成30年4月～平成31年3月

●「森林セミナー」の開催

平成30年4月27日、津市において「森林セミナー」を開催し、三重県農林水産部前田次長をはじめ森林・林業分野の担当課長及び班長の方々とから三重県の平成30年度森林・林業施策や予算、主要事業等について説明を聞きました。

会員の市町、林業関係団体等から38名の参加をえて、尾上会長の挨拶の後、県からの説明を受け、その後質疑応答を行いました。



●「森林・林業関係新任職員研修」の開催



平成30年5月14日、15日の2日間にわたり、津市において市町や林業関係団体等で新しく森林・林業分野の担当になられた職員の方々を対象に、「森林・林業関係新任職員研修」を開催しました。

県庁職員と団体役職員の方々に講師を務めていただき、森林・林業関係の昨今の動向や抱えている課題、現在講じられている施策・事業等全体を網羅した内容について学習していただきました。

●「現場で学ぼう研修会」の開催

平成30年5月28日、松阪市において「現場で学ぼう研修会」を開催し、市町や林業関係団体等から28名の参加をいただきました。松阪木材コンビナート内施設と木質バイオマス発電所（三重エネウッド（株））、原木流通中間土場（大紀森林組合）の施設を見学させていただきました。普段あまり見ることができない現場での学習は大変好評でした。



●「新たな森林経営管理制度（森林経営管理法）説明会」の開催

平成30年7月10日、津市において、三重県と共催で「新たな森林経営管理制度（森林経営管理法）説明会」を開催し、行政職員、林業関係団体職員、造林事業者など120名の大勢の皆さんに参加をいただきました。

林野庁企画課の箕輪富男主席森林計画官から「新たな森林経営管理制度（森林経営管理法）」についてご説明をいただき、事前に寄せられた質疑に対する回答に続いて、活発な質疑応答が行われました。



●「みえの森林づくり講演会」の開催



平成30年8月21日、津市において、三重県林業技術普及協会と共催で「みえの森林づくり講演会」を開催し、89名の皆さんに参加をいただきました。

講師には、三重大学大学院生物資源学研究科の村松直人教授をお招きし、「山の資源の見える化とICT技術の活用」をテーマにご講演をいただきました。

●「花粉他発生源対策普及イベント」の開催

平成30年9月11日、津市において、（一社）全国林業改良普及協会の委託を受け、「花粉発生源対策普及イベント」が開催されました。

イベントには、行政職員、森林組合職員、造林事業者、苗木生産者など53名の参加をいただき、林野庁が取り組む花粉発生源対策、花粉症対策に資する品種の開発、花粉飛散防止剤の開発、三重県における花粉発生源対策等についてご説明をいただきました。



●「先進地視察研修」の実施



平成30年10月24日から25日の2日間、住友林業（株）岐阜樹木育苗センターと長野県の北信州森林組合で「コンテナ苗の生産技術」と「スマート林業」の取組を学ぶ視察研修を実施し、29名の方々に参加をいただきました。

岐阜樹木育苗センターは、全国的に森林が伐採期を迎え、国産材利用の機運が高まる一方で再造林用の苗木が不足していることから2015年に岐阜県と住友林業（株）が苗木生産に関する協定を締結し、2017年3月に竣工したコンテナ苗生産施設です。施設の中でコンテナ苗の大量生産と品

質向上を図るための生産技術について説明していただきました。

北信州森林組合では、森林整備や木材生産の効率化に不可欠な施業集約化に向け、ICT機器を活用した情報管理で流通の効率化を図っており森林管理、生産・流通の各段階におけるスマート林業の実現を目指した先進的な取り組みについて説明していただきました。



●「みえの木育ネットワーク」設立講演会の開催



当協会を事務局として行政機関や木育民間関係団体等が連携する「みえの木育ネットワーク」を設立するにあたり、平成30年6月8日、津市において、三重県との共催により講演会を開催しました。

講演会では、岐阜県森林文化アカデミーの松井勲尚教授をお招きし「木育のこれまでとこれから」と題しご講演をいただくとともに、今後の木育活動に必要なことについて意見交換する「木育カフェ」を行いました。

当ネットワークでは、身近な樹木の活用や三重の木を使った木製品の開発・販売を通じ、「木育」の取組を加速させることを目的に活動を行っていきます。

●「みえ子ども森の学びサミット」にブース出展

森林環境教育や木育の輪を広げていくため、平成30年12月1日、松阪市において、森林や木のことを楽しみながら学ぶイベント「みえ子ども森の学びサミット」が開催され、当協会からは木のおもちゃで遊べる木育コーナーをブース出展しました。

このイベントでは、「みえの木育ネットワーク」で試作した木製のかるたを使ったかるた大会を行いました。



●「ユネスコエコパークの森 林道ウォーク&植樹活動」の開催



平成30年12月8日、大台町において林道ウォーキングと植樹活動を開催し、県内各地から公募した27名の方々に参加をいただきました。

イベントでは、大台町園地内の美園公園でヤマザクラの植樹を行った後、現地ガイドの案内により、落差30mの滝頭不動滝をめざし約10キロの林道ウォーキングを行いました。

参加者からは、「ただ歩くだけでなく、ガイドさんの樹木や、森林の話があつてとてもよかった。」、「植樹ができてよかった」等の声をいただきました。

●「三重の木 ふるさと三重かるた」体験会の開催

三重県の委託を受け、木育用玩具として開発した「三重の木 ふるさと三重かるた」（県産ヒノキ製）を使ったかるた大会を平成31年3月17日に津市において開催しました。

たくさん子どもたちに木の感触を感じながら、三重の特徴がふんだんに盛り込まれた「ふるさと三重かるた」を体験していただきました。参加者からは、「木の香りがする」、「勉強になった」などの声をいただきました。

また、このかるたは、5月以降販売を予定していますので是非、ご購入ください！



受賞者の紹介

●平成30年度治山・林道コンクール

治山・林道工事の施工技術の向上等を図るため、三重県森林協会では、毎年、治山・林道コンクールを実施しており、下記の方が受賞されました。（敬称は省略して掲載させていただいています。）

(1) 第34回民有林治山工事コンクール

①（一社）日本治山治水協会長賞

有限会社アクト 世古 由美子

工 事 名：平成29年度自然災害防止事業
第尾-1号工事（川奥栃川原）

施工場所：尾鷲市南浦字奥栃川原 地内

②三重県森林協会長賞

山二建設株式会社 西山 啓司

工 事 名：平成28年度復旧治山事業 第12号工事
施工場所：多気郡大台町小滝字始神谷 地内

(2) 第19回民有林治山木材使用工事コンクール

①（一社）日本治山治水協会長賞

三重県津農林水産事務所森林・林業室 西 健太郎

工 事 名：平成29年度自然災害防止事業
第津-2号工事（嘉冷山）

施工場所：津市芸濃町河内字嘉冷山 地内



民有林治山工事コンクール
H29自然災害防止事業第尾-1号工事



民有林治山工事コンクール
H28復旧治山事業 第12号工事



民有林木材使用工事コンクール
H29自然災害防止事業 第津-2号工事

●平成30年度山地災害防止標語及び写真コンクール

(一社)日本治山治水協会主催の山地災害防止標語及び写真コンクールにおいて下記の方が入賞されました。(敬称は省略して掲載させていただいています。)

(1) 平成30年度山地災害防止標語コンクール

① (一社) 日本治山治水協会長賞

三重県農林水産部治山林道課 伊藤 克之
「チームプレイ 緑のダムと治山ダム」

●平成30年度功績者表彰

本県林業・木材産業等の振興及び技術の改善・向上に功績顕著な方々を三重県森林協会が毎年表彰しています。(敬称は省略して掲載させていただいています。)

三重県森林協会長賞

大谷 尚紀	三重県尾鷲農林水産事務所	「第57回治山研究発表会」において高い評価を得た。
川村 篤	三重県志摩建設事務所	「第53回近畿・中国・四国地区林道研究発表会」において高い評価を得た。

三重県森林協会活動実績 ■平成30年4月～平成31年3月

平成30年4月

11日 三重県林業団体連絡協議会幹事会出席(津市)
23日 正副会長会議開催(津市)
24日 三重県森林クラウド説明会出席(津市)
27日 森林セミナー開催(津市)

5月

14-15日 森林・林業関係新任職員研修開催(津市)
22日 平成29年度第2回理事会開催(津市)
22日 三重県林業団体連絡協議会総会出席(津市)
23日 三重県木材組合連合会総代会出席(津市)
28日 現場で学ぼう研修会開催(松阪市・大紀町)

6月

8日 みえの木育ネットワーク設立講演会開催(津市)
25日 治山・林道工事コンクール審査会開催(津市)
28日 三重県緑化推進協会総会出席(津市)
リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会建設促進大会出席(津市)
29日 監事会・平成30年度第1回理事会開催(津市)
三重県農林水産部と三重県森林協会役員との意見交換会開催(津市)

7月

5日 三重県水源林造林推進協議会総会開催(津市)
6日 おもちゃ大好き!〜郷土玩具とおもちゃの歴史〜ミエトイ・キャラバンin MieMu開会式出席(津市)
10日 新たな森林管理制度(森林経営管理法)説明会開催(津市)
19日 平成30年度定時総会・臨時理事会開催(津市)
25日 環境省における平成31年度主要施策等についての意見交換会開催(津市)
27日 公有林野全国協議会総会出席(東京都)
31日 自由民主党三重県支部連合会平成31年度国・県の政策・予算に関しての要望聴き取り会議出席(津市)

8月

6日 みえ森と緑の県民税平成29年度事業成果発表会出席(津市)
21日 三重県林業技術普及協会総会開催(津市)
「みえの森林づくり講演会」開催(津市)
30日 近畿治山林道協会連絡協議会総会出席(大阪府)
31日 林業研究所研究成果報告会出席(津市)

9月

11日 花粉発生源対策普及イベント開催(津市)
13日 日本治山治水協会総会出席(東京都)
18日 「森林・林業政策提案・要望」意見交換会開催(津市)
19日 森林整備・治山事業促進議員連盟緊急決起会議出席(東京都)
21日 みえ森林・林業アカデミー産学官連携協議会設立総会出席(津市)
23日 みえチェーンソー技術競技大会出席(松阪市)

10月

8日 みえ森林・林業アカデミー開講記念シンポジウム出席(津市)
11-12日 全国治山林道協会会長会議出席(鹿児島県)
24-25日 先進地視察研修会開催(岐阜県・長野県)
26日 「平成31年度県予算編成に係る森林・林業政策提案・要望書」提出(津市)

11月

7日 「平成31年度当初予算等における林野公共事業に関する緊急要請」提出(東京都)
「平成31年度当初予算の確保と平成30年度補正予算に関する要望」提出(東京都)
14日 森林・林業・木材産業活性化促進三重県議員連盟総会出席(津市)
15日 農林水産関係団体等人権啓発研修会出席(津市)

21日 「三重の林業」編集会議出席 (津市)
28日 治山・林道のつどい出席 (東京都)
日中韓治山シンポジウム出席 (東京都)
29日 日本林道協会総会出席 (東京都)
治山林道工事コンクール出席 (東京都)

12月

1日 みえ子ども森の学びサミット出展 (松阪市)
8日 「ユネスコエコパークの森 林道ウォーク&植樹活動」開催 (大台町)
17日 三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会出席 (津市)

平成31年1月

17日 全国治山林道協会会長会議出席 (東京都)
民有林振興会総会、セミナー出席 (東京都)

18日 日本林業再生における協会活動等に関する研究会出席 (東京都)

22日 知事との森林トーク・森林懇談会出席(津市)

2月

4日 平成30年度農林水産祭「優秀農林水産業者に係るシンポジウム」出席 (松阪市)

22日 低コスト林業ワークショップ出席 (津市)

3月

15日 林業普及活動・研究成果発表会出席 (津市)
林業研究グループ連絡協議会活動報告会出席 (津市)

17日 「三重の木 ふるさと三重かるた」体験会開催 (津市)

今後の森林協会活動予定

●4月17日(水)「森林セミナー」の開催

開催時間／14:00～16:30 開催場所／三重県生涯学習センター

内 容／「平成31年度三重県森林・林業関係予算及び新規・重要事業」について、三重県森林・林業分野幹部職員の皆さんから説明を受け、質疑応答を行います。

●4月23日(火) 森林協会正副会長会議の開催

開催時間／14:30～16:00

●5月9日(木)～10日(金)「新たな森林管理システム担当者会議」の開催

開催時間／10:00～17:00(予定) 開催場所／津市勤労者福祉センター(サン・ワーク津)

内 容／「新たな森林管理システム」について、林野庁担当課職員の方から説明を受け、質疑応答を行います。

●5月24日(金) 森林協会平成30年度第2回理事会の開催

開催時間／10:00～11:45

●6月28日(金) 森林協会令和元年度第1回理事会の開催

開催時間／14:00～15:30

●7月23日(火) 森林協会令和元年度定時総会の開催

開催時間／14:00～15:30



治山・林道標識板を取り扱っています

三重県森林協会では、治山・林道事業等で使用する標識板等を取り扱っています。アルミニウム軽合金鋳造製品、鋼板・アルミ製品に加え、黒御影石製品等も扱っていますのでご利用ください。

お問い合わせ、ご注文は三重県森林協会までお願いします。

(一社)三重県森林協会 TEL.059-228-0924

会報 かけはし第50号

平成31年4月発行

一般社団法人三重県森林協会

編集責任者 前川 有

印刷所 伊藤印刷株式会社

〒514-0003 三重県津市桜橋1丁目104番地

TEL 059-228-0924 FAX 059-228-3220

電子メール mifa@zvtv.ne.jp

ホームページ <http://www.za.zvtv.ne.jp/wdsnd73h/index.html>